

とっとり 県議会だより

No.055

12月
議会

〈県議会HP〉

県議会について
の情報を
掲載して
います。



〈定例会中継〉

本会議や委
員会の様子
を生中継し
ています。



〈県議会公式X〉



〈県公式LINE〉



Contents

代表質問	2p
一般質問	3~7p
高校出前講座	7p
令和6年度決算認定	8p
常任委員会活動	9p
議決結果	10~11p
議員海外派遣	12p
お知らせ	12p



12月定例会の概要 (12月1日~22日)

開会日の12月1日に、平井知事から、総額32億円余の令和7年度鳥取県一般会計補正予算(第6号)など16議案が提案されました。また12月3日に総額10億円余の令和7年度鳥取県一般会計補正予算(第7号)が、12月15日に総額450億円余の令和7年度鳥取県一般会計補正予算(第8号)など5議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党が行い、一般質問には23名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

- ◎予算議案 《可決7件》
- ◎決算認定 《認定4件》
- ◎その他議案 《可決5件》

- ◎条例議案 《可決7件》
- ◎人事議案 《同意2件》

【議員提出議案】

- ◎条例議案 《可決1件》

- ◎意見書 《可決3件》

- 【請願】 《不採択2件》

- 【陳情】 《研究留保1件、不採択3件》

表紙の写真

CATCH the STAR ミュージック フェス2025

鳥取県の中・高校生による屋内音楽フェス「CATCH the STAR ミュージックフェス(星フェス)2025」が、10月19日にみなとテラス市民ホール(境港市)で開催されました。

予選を通過した15組35人の中・高校生が、200名を超える来場者が見守る中、本格的な設備の舞台でパフォーマンスを行いました。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



鹿島 功 議員
選挙区
西伯郡



新政権を踏まえた県政運営

問 高市新政権は、地域未来戦略をつたい、経済に重点を置いた取組を進める。その動きと国内外の動きをとらえて、今後の県政運営は。また、歳入減が予想される令和8年度予算と財政運営について問う。

答 進めるべき政策を取捨選択しながら取り組む。政府の施策を活用し、本県を良くする。自動車部品、医療関係、農業などの産業クラスターを応援していく。暫定税率廃止や基礎控除引き上げによる歳入減に対する国の補填の動きを注視し、政府の経済対策・物価高騰対策の果実を県内でも落としていけて、かつ、人口問題や地方創生にも積極的な予算編成にする。

人口減少と地域の強靱化

問 本県の最重要課題、人口減少問題について知事の考えを問う。

答 国の人口戦略本部のほか全国との連携など国全体の枠組みに呼応しながら、今後の政策展開を進めていく。合計特殊出生率や転出入人口などの分析・活用、移住やUターン施策の充実のほか、ふるさと住民登録など新しい取組を展開させていく。そのためには、国の財源補填の動きをよく見ていく。

問 本県の消防団員の充足率は、87%と年々減少、特に過疎地域では活動の維持が困難に。防災士取得者は増加しているが、ネットワーク登録者が17%に留まっている。来年の防災国体を契機に、互助の力をより強固にし、地域活動参加を促す取組が必要では。

答 防災国体で全国の方と交流し、我々の防災力を高めたい。イベントや県内の防災キャンプなどの話題を県民に提供する。中部地震の後、県は個別のヒアリングを行い、支援プランにつないだ。地域ごとに要避難者の確認や避難の

持続可能な農業について

段取りを話し合っているとところもあり、本県らしさであると思う。県として、消防団や防災士のネットワークづくりを始めている。

問 令和の米騒動が起こった。地球温暖化による米の品質低下やインバウンドの増減などの影響もあり、米の需要と供給を正確に見通して生産するという考えには限界がある。本県の米生産をどのような方針で進めていくのか。

答 増産か減産かの議論はあるが、2030年の生産量818万トンという目標があり、増産していくという計画に変わりはなく、価格が高止まりして消費者が離れてしまうことは避けるべきで、国全体でコントロールしながら生産現場を支えていく方針だと思う。大区画化やスマート農業、育苗施設の整備をやっていく。

問 昭和40～50年代に建てられたライスセンターや選果場、食肉センターなどの老朽化が進んでいる。梨の新品種「鳥園」への期待もあり、次世代の担い手を確保し、生産量の減少を食い止めるには、一刻の猶予もない。また、食肉センターも、台湾など高い衛生基準の国への輸出には対応しておらず、速やかに更新すべきである。

答 選果場の再編について議論が始まった。現場と一体感を持って早く進むよう、県も後押しをしていく。食肉センターは、令和3年に部分改修を行った。運営については協議を継続していく。

安心・安全な社会づくり

問 鳥取県の拉致被害者、特定失踪者の問題は40年以上も未解決である。早期解決に向けて、県として今後どう取り組むのか。

答 拉致問題解決のための機運醸成や帰国後の受け入れ体制づくりなどを進めてきたが、いまだ解決に至っていない。解決に向けた集いや、漫画冊子を用いた広報活動も行っている。啓発の強化を図る。

問 気候変動は人間活動が主な要因。令和12年度に地方電力における再生可能エネルギーの割合を60%にする目標だが、達成状況の評価と今後の取り組みは。

答 現在48%まで進んできた。西部で風力発電計画への反対があったように、地元の環境や生活に及ぼす影響に敏感になっている。バイオマス発電所や屋根の上で太陽光発電をする鳥取方式のPPAは、今後も伸びる可能性がある。地元の調和的な賛同が得られる中で、可能なところを目指していきたい。

一般質問

12月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会



会派正式名称

【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
【民主とっとり】 鳥取県議会民主とっとり
【公明党】 公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、病院事業管理者は知事の部局ではないため、別に表記した。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

産業人口確保に向けて 観光振興について

問 県内企業の人材確保のため、企業の魅力を伝え、若者が働きたいと思うような場を設けるべきと考えるが。

答 今回初めて企業トップと交流し楽しみながら地元で働く場を見つけてもらう鳥取若者産業交流フェスを開催する。

問 特定国へ依存しない多角的国際誘致客戦略の構築や観光ニーズ掘り起こし、長期滞在需要の創出などが必要だが。

答 カントリーリスクを避けるため多くの国へ様々なプロモーションを仕掛け、観光コンテンツを磨き中国地方一帯広域連携ビジョンを展開する。



前住 孝行
議員



選挙区 八頭郡
会派 無所属

①クマ被害防止対策② 教育現場等の防犯対策

問 ①本県のクマ対策の取組検証と今後の対策強化について、どうお考えか。強硬型の対策と併せて、柔軟型のクマを寄せつけない取組も検討してはどうか②防犯カメラの整備を学校だけではなく、幼稚園なども含めて広く推進していくべきでは。

答 ①クマとクマ人材のデータベースを強化し、ガバメントハンター（※）などクマ対策チームの組織化を目指す。クマ誘因の柿の木伐採などゾーニングで対応する②これまで通り国庫補助事業を活用して推進していきたい。



村上泰二郎
議員



選挙区 西伯郡
会派 民主とっとり

人権条例、国道431号 高架、風力発電

問 表現の自由とバランスをとりながらも、成立させることが最も大切では。

答 言論弾圧と言われるがそうではない。具体的な人権侵害を受けて動き出し、鳥取県はあなたの人権を守りますというメッセージを発する。

問 国道431号高架案への日吉津村民の懸念を御存じか。

答 村が分断される懸念は胸に刻んだ。国交省は地元の事情も考え計画を決めて欲しい。

問 地元3町の風力発電反対にどう対応するのか。

答 林地開発許可は全集落の同意を前提条件とする。



河上 定弘
議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党

産業教育手当（※） 障がい福祉の人材確保

問 急務である専門高校の安定的な教員確保のためにも、全国で本県のみ不支給の産業教育手当を支給すべきでは。

答（教育長）産業界を支える人材育成のための専門高校の教員確保に向け、産業教育手当の予算を確保し、ぜひ実施につなげたい。

問 深刻な介護人材不足が続く中、取組が進んでいない障がい福祉分野での外国人材の具体的な活用への検討を。

答 外国人材登用で先行している高齢者福祉分野と同様に、現場のニーズに即して新年度に取り組んでいきたい。



鳥羽 喜一
議員

選挙区 倉吉市
会 派 自由民主党

鳥取版DOGE（※）を 学力向上に向けた取組

問 物価高と少子化に対応するため、既存事業や補助金を総点検し、財源の最適化をはかっていく必要があるのでは。

答 行財政環境を踏まえた重要な指摘であり、具体的な進め方は新年度に向け検討する。

問 全国学力テストで全校種・全教科が全国平均を下回った。学力向上策を問う。

答（教育長）学力向上に特効薬はなく、教師との信頼関係に基づく授業の充実が重要である。指導力向上と「分かった・できた」の確認を徹底し、市町村教育委員会と連携して覚悟をもって取り組んでいく。



山本 暁子
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

①デジタル基盤 ②クマ等の鳥獣管理

問 ①鳥取県デジタルイノベーションセンターは先進的で画期的。活用展望は②鳥獣管理ができる人材の育成と、鳥取県らしい人材確保を。市町村の鳥獣課題に寄り添える人材と体制を。

答 ①ビッグデータの活用方法を研究・協議し、設立に至った。ヒューマンネットワークをつくり、地域のデジタル革命を起こす②クマ対策チーム等、鳥獣対策の新しい組織を作っていく。人材育成に加え、正職員の募集もしたい。市町村向けにノウハウのひな形や指導体制を作る。



前原 茂
議員

選挙区 米子市
会 派 公明党

難聴者支援 学校体育館の空調

問 要約筆記者の団体派遣はイベントが中心で、難聴者団体の会議への派遣が少ない。難聴者団体への派遣に考慮を願いたい。

答 難聴者が円滑に意思疎通を図れるよう支援方法を検討する。

問 体育館の新設や改築に合わせた空調工事では時間を要する。簡易的な遮熱新工法も含め、早期に検討すべき。

答（教育長）安価な方法で避難所にも耐え得る体育館の空調整備が進むのであれば、市町村にも情報提供しながら研究を進めていきたい。



前田 伸一
議員

選挙区 鳥取市
会 派 公明党

①再犯防止（就労） ②砂丘漂着ゴミ対策

問 ①今後の再犯防止の施策の第一は就労の確保である。県が再犯防止計画で取り組む施策としている国との連携は②鳥取砂丘海岸の清掃ボランティアの現状と効果、またボランティアによる人力回収では困難な漂着ゴミ対策は。

答 ①国と県との連携を働かかけたが、国が難色。障がい者対策や県立ハローワークでの就業支援員サポートが精一杯②海岸清掃ボランティアの新たな仕組みを議論中。ドローンやビーチクリーナーを活用した効率的な回収方法を関係者と相談していく。



語堂 正範
議員

選挙区 東伯郡
会 派 自由民主党

当事者に寄り添った 不妊治療施策

問 不妊治療を受ける世代は、日常生活と仕事、そして治療の両立に追われている。具体的な方法まで理解が及ばず、制度に不合理を感じながらも、行動の仕方が分からないという声が私に届いた。シン・子育て王国としてさらに踏み込んだ措置が必要では。また、他県に先駆け、42歳までとしている年齢・回数制限の緩和・撤廃が必要では。

答 関係者の意見をよく聞いて、新年度に向け検討を進める。悩みながら奮闘されている方に対し、鳥取県は優しい子育て王国でありたい。



玉木 裕一
議員



選挙区 鳥取市
会 派 無所属

①リヤド万博に向けて
②児相の職場環境改善

問 ①サンド・アライアンス(※)を活かし、リヤド万博に鳥取県パビリオンを出展し、鳥取の魅力を世界へ発信。令和の改新を積極的に実行し県内の経済成長へ繋げるべき②業務の棚卸、役割の見直し、夜間勤務体制の職員配置の再設計など全体を再度点検し総合的な改善策を示すべき。

答 ①出展は万博条約、外交で決まる仕組み。新しい交流のチャンネルを、部局横断的に考えていきたい②足らざるところはある。処遇面も含め児童相談所の在り方を新年度に向けて改善を図る。



広谷 直樹
議員



選挙区 岩美郡
会 派 自由民主党

本県の持続可能な
畜産・酪農について

問 ①本県の酪農家戸数の減少に歯止めをかけ、持続可能な酪農にする対策を講じる必要があるが②酪農ヘルパーの維持強化は必要不可欠であり制度の存続への対策を③県教委として、畜産酪農の将来を見据え、倉吉農業高校の取り組みをサポートしていくべき。

答 ①今後、持続可能な牛乳生産、酪農が進展するよう精一杯サポートをする②酪農家が仕事を続けられるよう国に働きかけを行う③(教育長)畜産酪農分野の持続可能性に寄与できるよう、倉吉農高への支援を継続していく。



市谷 知子
議員



選挙区 鳥取市
会 派 無所属

①児童自死事案②高市
総理「台湾有事」発言

問 ①児童自死事案の再検証報告書に遺書が。「勝手に自立援助ホームに行くことにされた事に強く抗議し死の選択をした。人生が辛い。死の選択をしたのは、本施設の管理職の立場ある者と児相のせい」と。自立援助ホームへの措置変更が大きな引き金となり自死に至ったと報告。児相を管轄する知事は心から謝罪を②高市総理の「台湾有事は存立危機事態」発言の撤回求めて。

答 ①以前、慙愧に堪えないと申した。再発防止に向けやるのが責務②外交防衛は国の課題。コメントする話でない。



中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

①219基の県内忠魂碑
の扱い②語り部活動

問 ①戦争の悲惨さ・平和の尊さを後世まで伝えていくため、忠魂碑の維持管理に国・自治体が積極的に関与すべき②戦争体験を自身の言葉で語る姿を動画・冊子等で制作し語り継ぐ活動をどう考えるか。

答 ①戦争の記憶を残すため、県としても補助制度や事例を案内するなど側面的にも支援を行っていく②遺族会等と相談しながら、証言ビデオ収録等を今後も継続する(教育長)映像資料の平和教材としての活用を検討し、ぜひ校長会理事会等も含めて周知を図っていく。



森 由美子
議員



選挙区 米子市
会 派 自由民主党

①国スポ価値の創出
②県外生受入と住環境

問 ①国民スポーツ大会成功とまちづくり、健康や観戦価値を踏まえ持続可能な大会像をどう描くか②県外留学生増に備え、全県立高校で寮整備等の住環境をどう整えるのか。

答 ①五輪を見据えたジュニア育成理念の下、鳥取にいる不利をなくす。島根と連携し人材・会場を共有して準備を進め、大会成功へ着実に推進②(教育長)県外生は増加しており、全国初の自治体・県・教育委員会で連携協定を結び、住環境整備や地域活性化を推進。寮設置も含め運営面など様々な点で検討する。



西村 弥子
議員



選挙区 米子市
会 派 無所属

①労働法制②不妊治療
助成制限開放③不登校

問 ①国の労働法制改悪に明確に反対し、県民の命を守る政策を強く要望すべき②年齢や収入で治療機会が奪われるのは人権問題。閉経の時間制限がある43歳以上の治療継続者から制限開放を③過去最多の不登校、適正な情報提供の為にリーフレットを作り学校・家庭・地域へ配布を求める。

答 ①議員の問題意識は共有する。今後の動向を注視し具体案を基に声上げるか考える②詳細検討の時間を頂き、当初予算で相談する③(教育長)賛成する。どんなことができるか検討を重ねて参りたい。

銀杏 泰利 議員 

選挙区 鳥取市
会 派 公明党

**①空港コンセッション
②やきとりフェス倉吉**

問 ①鳥取空港コンセッションの優先交渉権者は県外企業に選定。契約には県内企業との協力関係が条件だが、できなければ地元との関係が心配。地域振興・経済活性化に繋がるように②やきとりフェス成功は焼き鳥自体の大きな集客力を証明したが、評価は。

答 ①協力が得られなければ次点交渉権者と手続きを進める。優先交渉権者構成員の追加は、実施契約締結後は可能。締結前でも優先交渉権者自身からの申し出は制限しない②大成功、来年以降もしっかりフォローしたい。

山川 智帆 議員 

選挙区 米子市
会 派 無所属

地域公共交通持続のために県でデキルこと

問 公共交通施策について、人口減少が進む中、生活圏で移動手段を考える必要があるため①バス・運転手の共同利用や花回廊巡回バスの停留所の追加②市町村をまたいだデマンドバス活用の助成制度等の費用負担③先進事例の情報共有や他県での自動運転バス事故などを踏まえたインフラ整備の対応を検討しては。

答 ①地域ニーズを把握し、関係者と話をしてみたい②市町村と協議し、今後の支援の在り方を検討したい③コミュニティでの公共交通のバージョンアップを目指したい。

興治 英夫 議員 

選挙区 倉吉市
会 派 民主とっとり

高校無償化と県立高校教育改革

問 ①18億円基金で取り組む県立高校改革の方向は②高校学科再編に交付税措置も受けられる。産業界との連携協定締結を③鳥取大学と連携して、高校でアントレプレナーシップ教育（※）を④特別教室へのエアコン設置や部活動環境改善など、施設整備を。

答（教育長）①専門高校等の設備や機材の整備など、産業界・地域と連携し、戦略立てて向かう②関連企業の意見を聞き、連携協定を検討する③起業家精神を養うため、前向きに検討して進める④生徒目線で環境改善に努めたい。

浜田 妙子 議員 

選挙区 米子市
会 派 民主とっとり

**①米子水鳥公園の充実
②困難を抱く人に配慮**

問 ①米子水鳥公園誕生20年ラムサール条約登録30年。100年後を見据え、県下全ての子が触れ学ぶ場として充実を願う。米子境港高速道予定コースを危惧②相談支援窓口や民間支援事業所の専門性が問われ、人材確保や育成支援が必要。また、視覚障がいやロービジョンの相談窓口職員はレベルが高く、正職員にすべき。

答 ①自然環境を優先し国政をも変え守って来た。未来に向け残すメッセージだと思う。高速道は重要な指摘であり国に伝える②第三者的に県も関わりチェックし相談をする。

福浜 隆宏 議員 

選挙区 鳥取市
会 派 無所属

**虐待疑い年間400件
予防と更生支援強化を**

問 虐待したくてする親はいない。予防のペアトレ（※）と虐待した親の更生プログラムを充実させ、温かい社会を。

答 子どもの褒め方、気づかせ方などの伝授とカウンセリング等を模索し追求していく。

問 法改正で親権者の体罰や暴言も禁止に。しかし拭い去るのは相当困難。支援強化を。

答 アンケートでは、現在でも実に4割の家庭が、体罰を必要に応じてやると回答。社会全体で子どもとの向き合い方を変える必要がある。個別対応を児相・市町村・教育機関・家庭と一緒に進める。

内田 博長 議員 

選挙区 日野郡
会 派 自由民主党

**林業関連
インドとの交流**

問 ①林業技能検定制度の普及に向けての支援を問う②県産材の利用拡大に向けて新たな施策の拡充が必要では③インドのオリッサ州との交流を具体的に進めては。

答 ①技能実技試験の際の旅費や検定料の支援をしている②非住宅の木造化や規模の大きいものにも木材利用を推奨していく③オリッサ州との交流開始に向けて検討を始める。関係者がインドから来日され、お互いパートナーシップを検討するのであれば、正式な交渉に向けて進むタイミングである。

用語解説

3 ページ

● ガバメントハンター

クマ等の捕獲を専門に行う、狩猟免許を保有する公務員。

4 ページ

● 産業教育手当

産業教育に従事する工業・農業・水産業の専門高校教職員に支給される手当。

● DOGE

政府効率化省 (Department of Government Efficiency) の略。

5 ページ

● サンド・アライアンス

大阪・関西万博において「砂」を共通のモチーフとする8パビリオンと締結した国・地域間同盟。

6 ページ

● アントレプレナーシップ教育

起業家精神とも呼ばれる、自ら枠を超えて行動を起こし新たな価値を生み出していく精神を育む教育。

● ペアレントトレーニング

環境調整や子どもへの肯定的な働きかけを学び、子どもの適切な行動の促進と不適切な行動の改善を目的とするトレーニング。

7 ページ

● ネイチャーポジティブ (NP)

自然環境を保全するだけでなく、生物多様性の損失を防止し、回復させること。



野坂 道明
議員



選挙区 米子市

会 派 自由民主党

①NP (※) 宣言後 ②県市プールの統廃合

問 ①9月議会の提言を受けネイチャーポジティブ宣言と官民連携組織のプラットフォームが始動した。今後どのように社会実装を進めるのか②東山公園で米子市と連携しプールの統廃合を進めては。

答 ①提言を機に行政だけでなく投資家や都市部を巻き込んだ実験モデルの確立を目指し、投資メニューを整備し関係者と戦略を練りながら先手を打って社会実装を推進する②対等な負担関係から丁寧に議論し、まとまれば一緒にやる。国スポのスケジュールのずれも念頭に協議の場を考える。



伊藤 保
議員



選挙区 東伯郡

会 派 民主とっとり

記録的な不漁 沿岸漁業の存続対策は

問 沿岸漁業は、近年減少傾向にある中、今年は記録的な不漁で、8月までの水揚げ量は、前年の78%と落ち込んでいる。中でも、主力魚種であるハマチは前年の1割と極端な不漁。今後の沿岸漁業の存続対策は。

答 4年ほど前からブリ、ハマチの子の激減が観測されており、海水温の変化に近県を含めてその異変に恐怖を覚えているところである。現場の皆さんと話をさせていただきながら、望まれる対策や、漁法の転換などについて考えていきたい。

高校出前講座



鳥取県議会では、主権者教育の取組として、新たに有権者となる高校生に議会や議員を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、議員が学校現場を訪問し、身近な行政課題等について高校生と意見交換を行う高校出前講座を開催している。

今年度は、10月16日に県立鳥取商業高校（鳥取市）で開催し、議員が同校1年生約150人と「議員に伝えたいこと、聞いてみたいこと」をテーマに活発な意見交換を行った。

参加した生徒からは、「議員と話すという機会が新鮮で面白かった」「テレビの中の人イメージがあったが、親しみやすく親近感が湧いた」「自分が選挙に行ける歳になったら、しっかり調



べて生活をより良くしてくれる情熱、方針を持った人に一票入れたい」など、出前講座の取組に対する評価や、感想が多く寄せられた。

高校出前講座は、鳥取県議会として、来年度以降も引き続き実施していくこととしている。

令和6年度決算を認定

決算審査特別委員会は、令和7年12月19日、「令和6年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について」、「令和6年度鳥取県営企業決算の認定について」、「令和6年度鳥取県営病院事業決算の認定について」及び「令和6年度決算の認定について」の4議案を認定すべきものと決定し、当該議案は、22日の本会議において認定された。

鳥取県議会では、適正な予算の執行と編成のために、決算審査特別委員会を通年設置としており、「総務教育」、「福祉生活」、「農林水産商工」、「地域県土警察」及び「公営企業」の5分科会を設け、効率的かつ詳細な審査を行っているほか、新年度予算に審査結果を反映させるため、11（12）月定例会で決算認定を議決している。



文書指摘を知事に提出



鳥取県立博物館



ぱにーに（就労継続支援B型事業所）



鳥取放牧場風力発電所

決算関係の4議案は、9月定例会から実質的に審査を開始しており、分科会ごとに書類審査を行った上で、より調査すべき事項について集中審査、現地調査などを重ね、最後は全体会において委員全員で議論を行った。

その結果、速やかに改善又は検討すべき事項として、文書指摘4件、口頭指摘5件を行ったうえで、4議案を認定すべきものと決定した。

今後、同委員会は2月定例会において、指摘事項を新年度予算等にどう反映したか知事に執行部から説明を求め、決算と予算の審査を一体化することで、本県の行財政運営の効率化が図られるよう努めていく。

文書指摘の概要

（1）鳥取県立博物館の耐震改修について

博物館の耐震改修にあたっては、文化庁との協議を継続するとともに、建物の老朽化対策や設備更新などと一体的に施工できるよう検討を進める必要がある。また、民間活力の導入可能性について再検討するとともに、他県における民間活用の事例等も広く調査し、工期やコスト縮減に向けた手法を幅広く検討するなど、スピード感をもって進めるべき。

（2）障がい者のはたらき・自立のための工賃向上事業及び新たな工賃向上プラン実現加速化事業について

「新たな工賃向上プラン実現加速化事業」の昨年度の利用実績は、環境整備2件、生産性向上2件など、極めて少ない結果となっていることから、事業の更なる周知と併せ、事業所等を通じて利用者の意見をよく聞き、就労意欲向上のための余暇活動を支援対象にすること等も含め、工賃向上につながる事業となるよう改善すべき。また、県内事業所の平均工賃の向上には、県内事業所の受注機会の拡大が必要であり、県が今以上に発注機会

を創出し、平均工賃アップに積極的に貢献すべき。
（3）鳥取県いじめ問題検証委員会について

いじめ問題検証委員会がこれまで一度も開催されていない背景に、制度の周知不足や検証の申し立てがしづらい環境があったのではないかと懸念されることから、第三者による調査組織の調査結果等に不服がある場合には、当該委員会において再調査が可能であることについて、対象者へ積極的に周知徹底するなどし、実効性のある制度とすべき。

（4）電気事業の一層の経営改革について

企業局の電気事業は3年連続の赤字を計上していることから、「鳥取県企業局改革プラン」に基づく具体的取組を早急に実施するとともに、今後、策定を予定している「経営戦略プラン」にも適切に反映すべき。また、鳥取放牧場風力発電所については、風車3基のうち2基が復旧に高額な費用を要する不具合により運転を停止しており、民間譲渡の公募を行っても採算性が見込めないとして応札がなかったこと、環境教育等において一定の役目を果たしてきたことから、令和8年8月のF I T期間終了に合わせた解体撤去に向けて早急に取り組むべき。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



出前県議会での高校生との意見交換

◎12月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

県人事委員会勧告に基づく職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例のほか、物価高騰支援のための補正予算などを含む10議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新たに提出された請願1件を不採択とすべきものと決定した。

◎出前県議会・県内調査活動（11/12）

「高校における主権者教育の取組」をテーマに出前県議会を実施し、高校生と活発に意見交換を行った。また、鳥取工業高校において地域で活躍する人材育成の取組について、鳥取大学地域未来共創センターにおいて地域の課題解決に向けた取組等について、県内調査を行った。

福祉生活病院常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

物価高騰対策及び緊急経済対策として、市町村と協調した低所得者の方等への灯油代を含めた光熱水費支援、省電力照明器具への買換え支援、医療・社会福祉・保育職員の処遇改善等を含む「令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）」のほか、県立厚生病院で新たに無痛分べんを行うこと等に伴う「鳥取県手数料徴収条例等の一部を改正する条例」など4議案について、慎重に審議を行い、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情1件を審査し、不採択と決定した。

農林水産商工常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案）

県内養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザに伴う防疫措置、影響を受ける養鶏農家等への経営支援等を盛り込んだ先議議案「令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第7号）」、物価高騰・米国関税対策や賃上げを進める事業者への設備投資支援、販路開拓や経営力向上に対する支援策、スマート技術や省エネ機械・施設の導入、飼料高騰等への補助などをはじめとする農林水産業支援、ツキノワグマの出没に備えた総合対策事業等を盛り込んだ「令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）」等計6議案について慎重に審議を行い、いずれも妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

地域県土警察常任委員会



◎12月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

国の総合経済対策を踏まえた交通事業者に対する物価高騰対策の支援のほか、デイリー運航となる米子ソウル便の利用促進に向けたプロモーション強化、拉致問題の早期解決に向けた啓発強化などを含む一般会計補正予算、インターネット上の差別行為に関する相談や支援、削除要請に基づく削除命令・公表・過料の導入などを行う「人権尊重の社会づくり条例の一部改正」など10議案について審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された請願1件、陳情2件を不採択、継続審査中の陳情1件を研究留保とすべきものと決定した。

自由民主党												民主とっとり					公明党			無所属						賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果			
浜崎 晋一	斉木 正一	野坂 道明	内田 博長	川部 洋	広谷 直樹	中島 規夫	安田 由毅	語堂 正範	東田 義博	浜田 一哉	福田 俊史	村上泰一朗	坂野経三郎	浜田 妙子	尾崎 薫	興治 英夫	伊藤 保	前田 伸一	前原 茂	銀杏 泰利	玉木 裕一	前住 孝行	西村 弥子	山川 智帆	松田 正					福浜 隆宏	市谷 知子	
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	認定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	決定
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
委員長報告（左記）に対する賛否 ※請願・陳情への賛否ではありません																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	23	11	34	研究留保	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	32	2	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	34	0	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	25	9	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	25	9	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	26	8	34	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。
 ※（措置済）と記載があるものは、国又は執行部等において措置済みのため願意が概ね実現されており、議会として重ねて措置を講じる必要がないことを理由とするもの。

議案等番号	件 名	議決結果
⑯	鳥取県人権尊重の社会づくり条例の一部を改正する条例	可決
⑰	令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第7号）	可決
⑳	職員の特殊勤務手当に関する条例及び警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
㉑	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
㉒	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
㉓	刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書	可決
㉔	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書	可決
㉕	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書	可決

令和7年12月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます →



自由民主党

入江 誠	河上 定弘	鳥羽 喜一	森 由美子	山本 暁子	島谷 龍司	鹿島 功
------	-------	-------	-------	-------	-------	------

議案等番号	件 名						
①	令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○
②	令和7年度鳥取県給与集中管理特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○
⑦	鳥取県手数料徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
⑩	事業契約（鳥取県立美術館整備運営事業）の締結及び公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立美術館）についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
⑪	事業契約（鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所鞆町庁舎整備等事業）の締結についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
⑬	令和6年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○
⑮	義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
⑱	令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○
⑲	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
9月定例会議案第13号	令和6年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○
9月定例会議案第14号	令和6年度鳥取県営企業決算の認定について	○	○	○	○	○	○
9月定例会議案第15号	令和6年度鳥取県営病院事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○
決算認定に係る指摘事項	「9月定例会第13号、第14号及び第15号」並びに「12月定例会第13号」	○	○	○	○	○	○
①	鳥取県拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件 名	委員長報告					
陳情7年-11	旧姓の通称使用の法制化を求める陳情	研究留保	○	○	○	○	○
請願7年-22	政務活動費の公開のあり方について	不採択	○	○	○	○	○
陳情7年-23	脳神経関連権保護の条例制定についての陳情	不採択	○	○	○	○	○
請願7年-24	衆議院議員の定数削減に反対する請願	不採択	○	○	○	○	○
陳情7年-25	被ばくの影響を受けやすい乳幼児・子ども・妊産婦などが屋内退避する場合の被ばく低減対策を鳥取県地域防災計画及び広域住民避難計画に記載することを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○
陳情7年-26	生活保護基準引下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席。
※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等番号	件 名	議決結果
③	令和7年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）	可決
④	令和7年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第1号）	可決
⑤	令和7年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第2号）	可決
⑥	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑧	財産を無償で貸し付けること（鳥取砂丘コナン空港脱炭素化推進計画関連用地）について	可決
⑨	鳥取県建設工事等入札制度基本方針の一部変更について	可決
⑫	当せん金付証券の発売について	可決
⑭	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決

国際交流・海外調査

台湾訪問団

10月27日から30日まで銀杏泰利議員を団長に6名の議員が、地域間交流、観光誘客、県産品の物流状況、教育交流の取組等について調査するため台湾を訪問した。

台湾日本関係協会や日本台湾交流協会台北事務所では現地の動向や自治体間交流の状況等について、台北市の旅行会社やタイガーエア台湾では訪日観光誘客等について、台中市立日南国民中学校や台中市政府では教育交流の拡充等について、それぞれ意見交換を行った。また、台中市の高級スーパーや県産木材製品のショールームでは県産品の販路拡大等について、921地震教育園区では地震教育の取組等について調査を行った。台湾との交流促進に向けて、今回の調査結果を今後の政策提言等に活かしていきたい。



インド訪問団

11月10日から14日まで内田博長議員を団長に6名の議員が、人的交流、経済交流の可能性等について現地調査するため、インド・オリッサ州及び首都デリー市を訪問した。

オリッサ州政府では、今後の我が国との交流促進に向けた意見交換を行ったほか、カリング工業技術大学では、本県との交流に対し強い関心が示された。このほか、技能訓練を行うワールドスキルセンターでは、溶接等の実習を視察したほか、インド全体の技能人材育成を担う国家人材開発公社では、友好交流を基にして人材交流を進めていく考え方に賛同が示され、多様な分野で人材育成が可能との説明をいただいた。今回の調査結果を本県とインドとの交流に係る政策提言に活かし、今後、さらに議論を深めていきたい。



information

県議会からのお知らせ



2月定例会の日程案

期 日	日 程
2月24日(火)	本 会 議(開会・提案理由説明)
25日(水)	常任委員会
26日(木)	
3月 2日(月)	本 会 議(代表質問)
4日(水)	
6日(金)	本 会 議(先議議案に対する質疑)
9日(月)	常任委員会
10日(火)	本 会 議(先議議案採決・一般質問・質疑)
12日(木)	
13日(金)	本 会 議(一般質問・質疑)
17日(火)	
18日(水)	
23日(月)	常任委員会
24日(火)	特別委員会
25日(水)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

『とっとり県議会だより』について
ご意見をお聞かせください。
紙面づくりの参考にいたします。



議会中継

本会議はケーブルテレビで生中継しています。
また本会議や委員会の生中継と録画放送は、インターネットで公開しています。
表紙のQRコードからアクセスしてください。



県政に対する提案事項

県政に対する提案事項およびその対応状況については、財政課ホームページからご覧いただけます。
財政課
ホームページは
こちらから→



あ と が き

「とっとり県議会だより」見てますよ！と声を掛けていただくことがある。SNSが普及する昨今、紙媒体での「とっとり県議会だより」に発信の意義を再確認する機会となった。今後とも、読みやすい紙面作りに広報委員会全員で挑んで行きたい。(広報委員！)

発行日／令和8(2026)年2月1日

編集・発行／鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp